

みんなで作ろう

2014/1/1

里山自然公園

N019



発行 信太山に里山自然公園を求める連絡会

連絡先 NPO 法人信太の森FANクラブ 0725-44-8404 e-mail : hanaizm@ares.eonet.ne.jp

謹賀新年

今年の秋、信太山丘陵市有地の保全と活用をめざした公園化の基本構想が策定されます。いっそうの智恵と力の結集をお願いします。



ワークショップ 作業部会：2013年12月1日

信太山丘陵市有地保全・活用検討ワークショップの第1回作業部会が開催されました。冬季を迎えて、緊急に保全作業が必要な湿地と草地再生の試験的取り組みとしてササ原などの刈り取りを行いました。公民協働の最初の活動として市民や職員約30名が参加しました。

ワークショップの経過と今後

2013年（平成25）の動き

1. 第1回 10月29日

検討委員会の答申でも早い時期に開催されるよう指摘されていたワークショップは、やっと10月になって開始されました。

第1回目は、学識経験者4名、公募市民5名、地元町会3名、和泉市職員6名の計18名からなるワークショップ会員の紹介からはじまり、会長に増田 昇氏（府大教授）、副会長に藤原宣夫氏（府大教授）を選出し、主に以下のことが議論されました。

- * これまでの経緯、計画地及び周辺概要の確認、検討の進め方など事務局から説明。
- * 「基本方針」（案）について、答申に対する認識、（案）は何時無くなるのかなどについて市の考え、及び対応に対する質問。
- * 事業の進め方や市道はいつ改修をするのか、公園開設の目標など概要を示してほしい。
- * ワークショップに併行して緊急の保全作業が必要。そのための組織化（協議会）が必要ではないかの意見が市民会員から提案があり、協議の結果、ワークショップの中に作業部会を置いて対応することになった。作業部会会長は藤原氏が増田会長より指名された。
- * 参加者の問題意識が様々で、様々な課題がある中一つ一つの問題を掘り下げるまでには至らないまま時間が終了。
- * 9月に向けて、何を議論するか、計画条件をどう整理するかなど各回のシナリオ・スケジュールを次回示してほしいとの指示で終わった。
- * 終了後、作業部会として、今まで保全作業に関わってきたFANクラブと自然館クラブの関係者などが打合せ、12月1日と1月7日に保全作業をすることを決めた。

2. 2回 12月19日 現地見学と打合せ

第2回は、小雨が降る中信太山丘陵の市有地

の現地見学が行われました。

- * 悪天候と短い時間（約1時間30分）で湿地の一部、自衛隊の植樹したアラカシやトウネズミモチの林、草原が広がっていた辺り、などごく一部を見るにとどまった。
- * 最も重要な湿地は廻れなかった。ワークショップ会員の多く（市民会員を除く）にどれだけ理解・認識いただいたか甚だ疑問。今後とも、話題ある毎に現地を確認することが大事。



信太の森ふるさと館で打合せ

現地見学のあと、信太の森ふるさと館で打合せが行われ、作業部会の報告や前回の指示に基づき事業スケジュールなどが示されました。

* 2024年（平成36）開園予定*

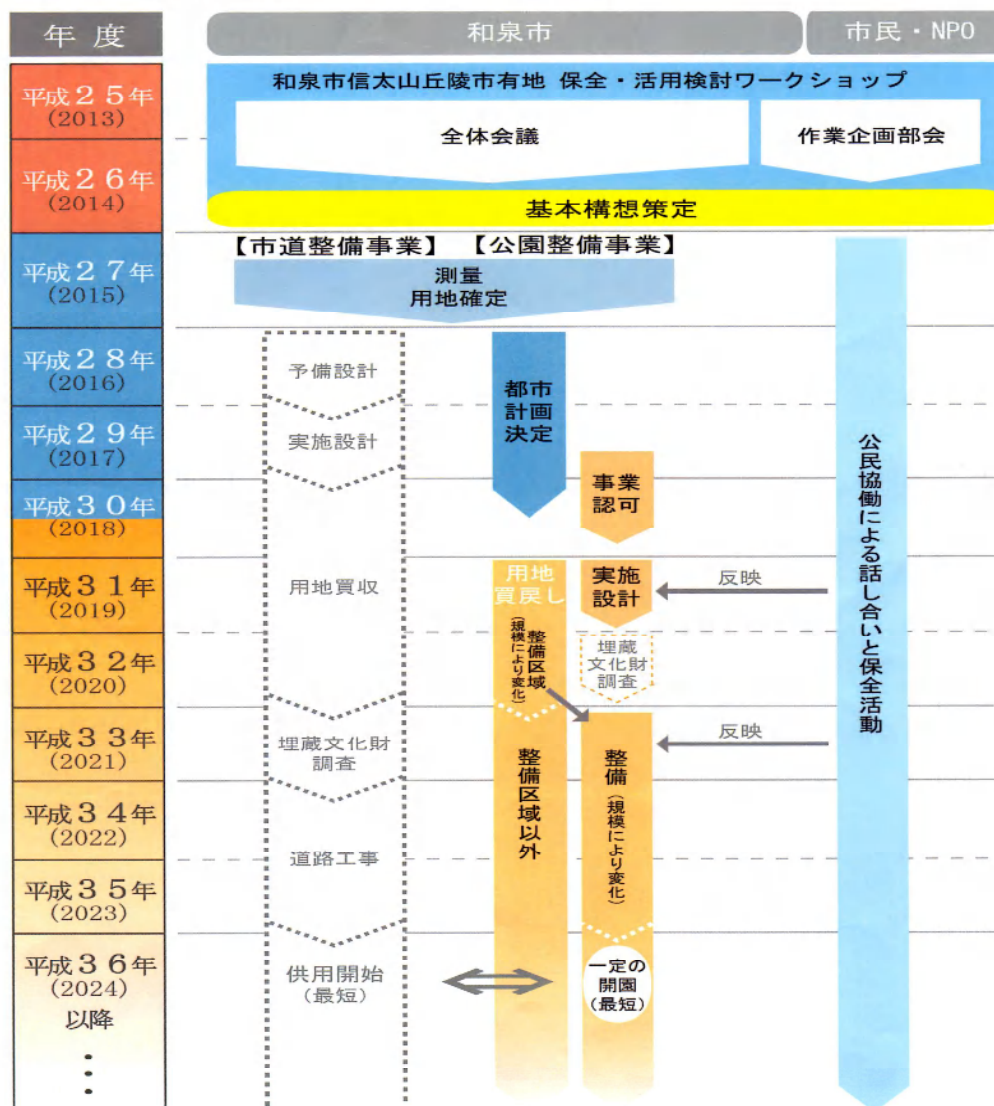
ワークショップは、2014年（平成26）8月までとなり、9月には基本構想（素案）を策定し、パブリックコメント（市民から意見を聞く）を経て、「基本構想」（案）とし、以後2015年（平成27）3月までに市は「基本構想」を策定するとなっています。

「開園に向けた事業スケジュールの見通し」では、都市計画決定・事業認可→実施設計・埋蔵文化財調査→整備と続き、一定の開園の見通しは2024年（平成36）を予定しています。（次ページ参照）

尤も、里山の自然環境を保全するための作業は開園するまでも、開園してからも継続して取り組みを続けていかねばなりません。

第2回ワークショップで示された事業スケジュールの見通し

■一定の開園に向けた事業スケジュールの見通し



和泉市・担当部署の情報 和泉市・政策企画室のHPをご覧ください
 （和泉市政策企画室で検索か下記のアドレスにアクセス）
<http://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kousitu/kikaku/>

募集！

連絡会ではボランティアで草刈りなど保全作業にご参加いただける方を募っています。草刈りなど未経験の方も歓迎します。

詳しくは、連絡会事務局まで電話・メールでお問い合わせ下さい。

Tel 0725-44-8404 email: hanaizm@ares.eonet.ne.jp

これからのワークショップの課題

1, ゾーニングの検討

これからのワークショップは、いよいよ核心と思われるゾーニングや管理・利用のあり方についての検討が始まります。ゾーニングについては主に次の課題があります

① 目標とする植生像

「基本方針」(案)の理念で、里山自然環境を保持すると明記されていますが現状の市有地のどんな植物や環境を保全し、何を除去していくかは非常に大切な課題となります。

私たちは、「里山自然公園構想」で信太山丘陵を特色づける湿地の保全や草地(草原)の再生を基本的な課題とし、ツツジの再生やコナラ林などいわゆる里山の環境を保全することを目標としてきました。そのためには、自衛隊によって植樹されたトウネズミモチやアラカシの伐採、2mに伸びたササ原を退治することなどが必要となります。ワークショップの中で議論を尽くす上から、湿地や草地の重要性とその役割について明らかにする責任とどうすればササ原を草地に替えることができるのかという技術的な方法等について探求していかなければなりません。

② 回遊ルートや広場の設定

回遊ルートは、公園化の大切な要素です。私たちの構想では、すでにある小径などを整備し、隣接する大野池や惣ヶ池湿地などと連絡を

可能とする程度と考えています。

広場は学校や団体の学習や活動に欠かせない場所となります。広さや中身(多目的広場)についてしっかり議論する必要があります。

③ 信太5号線のありかた

山ノ谷の人達が求めている生活道路としての役割を尊重し自然環境への影響が最小となるよう規模や線引きで智恵を出し合うことが求められます。

④ 施設や設備

管理棟・倉庫、休憩所、トイレ、駐車場など立地条件なども考慮しながら規模・中身・目的など検討していく課題があります。

2, 管理のあり方

① 保全活動を支えるありかた

当面、緊急性のある作業をと云うことでワークショップの中に作業部会がつけられました。しかし、保全作業の継続性・計画性・規模など考えると早急に保全のための組織を整備するよう訴えて行きたいと考えています。保全作業に参加できるNPO、各種団体、市民などに呼びかけ、行政も加わって「公民協働の協議会」がぜひ必要と考えます。基本的には開園後も保全作業を担う主体になることと思います。、その他ワークショップには様々な課題があります。引き続き傍聴などぜひご参加下さい。

催し案内

草地生態系保全 シンポジウム

2月8日(土) 大阪市立総合生涯学習センター(大阪駅前第2ビル5F)
詳しくは別紙参照 参加費 500円 要申込み
主催: 大阪自然環境保全協会 草地生態系研究会 後援: 大阪府

第3回ワークショップ 2月24日〔月〕午前10:00～ 和泉市コミセン1階中集会室

信太山丘陵観察会

1月26日 2月23日 惣ヶ池公園・9:00 保険・資料代200円
主催: NPO法人信太の森FANクラブ